

種目 (生活科)

<p>書名 項目</p>	<p>どきどき わくわく あたらしい せいかつ 上 2 あしたへ ジャンプ 新しい 生活 下 東 書</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○上巻は学校や通学路、家庭、身近な公園を主たる活動の場、下巻は身近な地域へと活動の場を広げ、その場での家族や地域の人々、生物とのふれあいや観察、世話、様々な生活体験、遊び、安全や健康に対する学習、自分自身を見つめたり振り返ったりすること、調べたことや自分の考えなどの表現活動等の具体的な活動や体験を通して、自立への基礎を養うよう構成されている。</p>
<p>特 色 内 容</p>	<p>〈基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫〉 ○オリジナルキャラクターがナビゲーターとして問いかけている。屋外観察等では「てをあらおう うがいしよう」マークにより衛生面に配慮している。 ○栽培用の植物はアサガオ、ヒマワリなど12種類の花（上巻）、ミニトマト等7種類の野菜（下巻）、飼育動物はウサギ等3種類（上巻）、ザリガニ等4種類（下巻）、観察時に危険なセアカゴケグモ、チャドクガ等の生物の他、それらに準ずる生物や観察対象となる動植物が合計20種類ほど扱われている。 ○用意するもの、観察や作業の方法、注意点等がイラストと文でわかりやすく示されており、知識や技能を修得できるよう工夫されている。字体を使い分けたり、文節で改行したりするなど読みやすくして理解を助ける工夫がされている。</p> <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成する工夫〉 ○児童の観察記録等を随所に示し、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫がなされている。「やってみよう」コーナーを設け、児童の発達段階に応じて発展的、選択的に活用することができるよう工夫している。 ○教師の指導や支援例が吹き出し等で示され、児童の気付きの質が高まるように工夫されている。</p> <p>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉 ○対象と繰り返し関わったり、自分の思いや気づきを表現したりする学習活動を充実させることで主体的に学習に取り組む態度を養う工夫をしている。</p> <p>〈具体的な活動や体験を通して、自立への基礎を養う工夫〉 ○家族や地域の人々、生物との様々なふれあいを通して自分と周囲との関わりを意識させたり自己評価を行ったりし、自立への基礎を養うよう工夫されている。</p>
<p>資 料</p>	<p>○上巻に「すたあとぶつく」が9ページ、巻末に「べんりてちょう」（上巻7ページ、下巻19ページ）、「ポケットずかん」（上巻のみ8ページ）がある。 ○大きさの異なるページを取り入れたり図鑑的ページをまとめたりするなど、児童の興味や関心を高める工夫がなされている。表情の豊かな写真やイラストを用い、児童の意欲を喚起するよう工夫されている。</p>
<p>表記・表現</p>	<p>○写真やイラストに吹き出しで考えを示したり児童が作成した記録例の中に模範的な考え方等を示したりすることで、児童の理解を高める工夫がされている。 ○色覚問題の専門家に校閲を依頼し、配色、デザインを工夫している。多様な児童が落ち着いて学ぶことができるよう落ち着いた淡いトーンで統一している。</p>
<p>総 括</p>	<p>○本文は、上巻116ページ、下巻120ページで、それぞれ9単元ある。 ○障がいのある児童と学ぶことを想定し、イラストや写真の中に車いすの児童が示されている。環境保全に関し、持続可能な開発のための教育に関わる資料ページを設けている。見開きでの構成を基本とし、上部に小単元名や課題、その他関連マーク等を配し、写真やイラストの配置も原則として統一されている。</p>

種目（生活科）

<p>書名 項目</p>	<p>新版 たのしい せいかつ 上 なかよし 4 新版 たのしい せいかつ 下 はっけん 大日本</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○具体的な活動や体験について、児童の主体的・能動的な活動を促すために、興味・関心をひくような色鮮やかな写真や挿絵を用いて構成している。 ○児童が身近な人々や社会、自然とかかわりを深めながら、気付きの質が高まるように配慮されている。</p>
<p>特色 内容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫> ○基本的な生活習慣や技能、安全への意識などが具体的な活動や体験をしながら身に付くように配慮されている。 ○飼育栽培では、ウサギなど6種類、コオロギなど7種類、アサガオなど9種類、ミニトマトなど10種類を扱い、育て方を示している。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○聞いたり調べたり教え合ったりすることで、見付ける、比べる、たとえるなどの活動を位置付け、児童が自分の考えを見直すことができるようにしている。 ○疑問や問いかけの投げかけにより、児童が多様な気付きを自覚化できるように工夫している。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○学習課題を具体的に明確にする説明文を木の葉スペースで表し、児童が自ら進んで活動できるように工夫している。</p> <p><具体的な活動や体験を通して、自立への基礎を養う工夫> ○学校生活に慣れるように遊びや活動、きまりなどを例示し、校舎内や校庭、学校の周りの通学路で出会う人とかかわりを写真や絵で示している。 ○新年を迎える準備や伝承遊び、通学路の歩き方や公園での遊び、春秋2回の町探検、道路の安全な歩き方や公園でのきまりごとなどを紹介している。 ○自然や物を使った遊びでは、水、砂、花、葉、実を使った遊び、風、雪、氷、影などの遊び、日用品や廃材を材料にしたおもちゃ作りを取り上げている。 ○自分の成長では、上巻で新1年生を迎える教室の準備を、下巻で自分のよいところやできるようになったことを見付け、発表会を開く活動を紹介している。</p>
<p>資料</p>	<p>○上下巻の巻末にそれぞれ「がくしゅうどうばこ」があり、活動の発展に役立つ資料が付いている。下巻にネイチャーゲームのビンゴカードが付いている。 ○ページ端に番号の付いたインデックス仕様の図鑑やスキルのページ（がくしゅうどうぐばこ）が上巻に7、下巻に14ある。国語との関連を「せいかつことば」のマークで、また、発展的な学習内容をカバのキャラクターで示している。</p>
<p>表記・表現</p>	<p>○単元名は、上巻「なかよし」下巻「はっけん」で統一し、大単元名と小単元名を白抜き丸ゴシックで示している。 ○パンダ、サル、ウサギ、カバのキャラクターが活動の示唆、意欲の触発、気付きの高まり、安全への注意などを促している。</p>
<p>総括</p>	<p>○上巻133ページで4単元、下巻129ページで5単元からなる。 ○単元中や巻末の「がくしゅうどうぐばこ」は図鑑としての活用や学習のスキルの紹介をしている。上下巻に透明シートの口絵のページが1か所ずつあり、児童の興味・関心を高めるように工夫されている。また、小単元「もうすぐ2ねんせい」で幼稚園児等を案内する活動を取り上げ、幼保小の連携を図っている。</p>

種目（生活科）

<p>書名 項目</p>	<p>みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 上 下 11 学 図</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○具体的な活動や体験について、児童が目的意識や見通しをもって活動に取り組むことができるように、写真やイラストを用いて分かりやすく示している。 ○児童が身近な人々や社会、自然とかかわりながら身に付けていく学力を明確にし、そのことが保護者にも分かるように配慮されている。</p>
<p>特色</p>	<p>内 容</p> <p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫＞ ○飼育栽培では、チャボなど5種類、ザリガニ、ダンゴムシなど6種類、アサガオなど7種類、ミニトマトなど6種類を主に扱い、育て方を紹介している。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞ ○活動の写真やイラストに児童のつぶやきや会話をそえて、気付きの質が高まるように配慮している。振り返りでは、劇やクイズ、新聞などによる紹介、作品作りなどを「学びかたずかん」を参考に表現方法を工夫できるようにしている。 ○観察・記録の活動では、「ものしりノート」を参考にして、表現や科学的な見方・考え方の基礎が身に付くように工夫している。</p> <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞ ○家の仕事に取り組んだり、製作したりする活動では、児童が計画を立て実行し振り返る一連の過程により、自ら進んで活動できるように工夫している。</p> <p>＜具体的な活動や体験を通して、自立への基礎を養う工夫＞ ○学校と生活では、教室や校庭で見つけたものを話した後、繰り返し探検し校内の人とかかわる活動を写真などで紹介している。 ○春の公園での遊び、商店や消防署、農家の人などとかかわる町探検を行い、「チャレンジ図かん」で障害者のための設備等を発展的な学習として紹介している。 ○公共物や公共施設の利用では、バスや電車の利用の仕方などを紹介している。 ○季節や水、砂、土、石、落ち葉、木の実を使った遊び、風、雪などを利用した遊び、昔の遊び、日用品や廃材を材料にしたおもちゃ作りを取り上げている。 ○新1年生を迎え校内を案内する活動や、生まれたときから今までの成長を絵本、巻物、紙芝居でまとめる活動を紹介している。</p> <p>資 料</p> <p>○巻末に「学びかたずかん」「生きものずかん」「あんぜんのページ」があり、学習の方法を確かめることができる資料が付いている。巻末の資料を参照することを案内するマーク（開いた本の形）が随所があり、活用を促している。 ○上下巻の冒頭と下巻の中ほどに折り込みページがあり、見開きのすごろくや細密画になっている。町の季節図鑑を8ページ載せている。</p> <p>表記・表現</p> <p>○単元を扱う時期が一目で分かるように、目次の表記が工夫されている。大単元名は見開きの扉ページ、小単元名は奇数ページの右上にインデックス仕様で示す。 ○上下巻を通して男女4人のキャラクターが活動を展開していく形式になっている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○上巻132ページで7つの単元、下巻128ページで5つの単元からなる。 ○上下巻末に「きみならどうする」があり、発展的な活動に結び付けたり、学習した内容を日常生活に生かしたりできるように工夫している。 ○上下巻で3つの大画面の細密画があり、児童の興味や関心をひくようにしている。</p>

種目 (生活科)

<p>書名 項目</p>	<p>せいかつ みんななかよし (上) せいかつ なかよしひろがれ (下)</p>	<p>17 教 出</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○上巻は学校や通学路、家庭や身近な野原を活動の場とし、下巻は身近な地域へと活動の場を広げ、その場での家族や地域の人々とのふれあい、生物とのふれあいや観察、世話、様々な生活体験、遊び、安全や健康に対する学習、自分自身を見つめたり振り返ったりすること、調べたことや自分の考えなどの表現活動等の具体的な活動や体験を通して、自立への基礎を養うよう構成されている。</p>	
<p>特 色</p>	<p>内 容</p>	<p>〈基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫〉 ○オリジナルキャラクターがナビゲーターとして問いかけている。屋外観察等では「てをあらおう うがいしよう」マークにより衛生面に配慮している。見開きでの構成を基本とし、小単元名、学習のねらい、教科関連マーク等、自己評価欄、家庭との連携や注意事項が見やすく配置されている。学習のヒントや注意事項は「はっけん ヒント」に見やすく明示している。 ○栽培用の植物はアサガオなど8種類の花、ミニトマト等9種類の野菜)、飼育動物は上下巻ととしてモルモット等ほ乳類、鳥類各2種類、ザリガニ他数種類の他、観察対象となる動植物が合計20種類ほど扱われている。</p> <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成する工夫〉 ○各単元の導入では、興味関心を高める内容を提示したり、活動をイメージさせる吹き出しを用いたりして、学習意欲を高めるように工夫している。 ○児童の観察記録等を随所に示し、児童の発達段階に応じ、徐々に単なる記録から感じたこと、思ったこと、考えたことの例を示し、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫がなされている。見通しを持つ、予測する、試行錯誤をするなどの活動から事物の法則に気づき、論理的な思考をはぐくむ工夫をしている。</p> <p>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉 ○各単元末で「ふりかえる」コーナーを設け、自己評価を行うことで自己を振り返り、主体的に学習に取り組もうと知る態度を養うようになっている。</p> <p>〈具体的な活動や体験を通して、自立への基礎を養う工夫〉 ○家族や地域の人々、生物との様々なふれあいを通して自分と周囲との関わりを意識させたり自己評価を行ったりし、自立への基礎を養うよう工夫されている。</p>
	<p>資 料</p>	<p>○スタートカリキュラムのページが13ページ、巻末には資料ぐんぐんポケット(上巻10、下巻20ページ)や書き込みページが2ページ(上下巻)ある。 ○折り込みページや光の当たり方によって見え方が変わる写真等、興味や関心を高める工夫がなされている。表情の豊かな写真やイラストを用い、児童の意欲を喚起するよう工夫されている。</p>
	<p>表記・表現</p>	<p>○写真やイラストに吹き出しで考えの例を示したり、児童の記録例の中に模範的な考え方等を示したりすることで、児童の理解を高める工夫がなされている。 ○日本各地の様子を写真で示し、自身の地域と比較できるよう工夫されている。カラーユニバーサルデザインを取り入れ色覚の個人差に対応している。</p>
	<p>総 括</p>	<p>○上巻120ページ、下巻114ページで、それぞれ9つの小単元にわけている。 ○様々な国籍の児童と学んだり、障がいのある児童と学んだりすることを想定し、イラストや写真の中に車いすの児童や外国人の児童が示されている。環境保全に寄与す態度を育てることができるよう、関係する場面には「地球となかよし」マークを示している。</p>

種目（生活科）

<p>書名 項目</p>	<p>せいかつ上 みんな だいすき せいかつ下 みんな ともだち</p>	<p>38 光村</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○児童の主体的な活動を促すために、鮮やかな写真やタッチの異なるイラストを多用し、学ぶ意欲を高めるように工夫している。 ○大単元を「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の3段階で構成してそれぞれの活動を段階的に配列することで、児童の思いや思考の流れを大切にするように配慮している。</p>	
<p>特色</p>	<p>内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫> ○飼育栽培では、モルモットなど6種類、ダンゴムシなど4種類、アサガオなど6種類、ミニトマトなど8種類を主に扱い、育て方を紹介している。 <思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○活動の写真やイラストに児童のつぶやきや会話をそえ、思いや願いを表現できるように促すとともに、気付きのヒントを置いている。 <主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○児童に呼びかけるような言葉で学習課題を提示し、思考する場面を織り込んで、試行錯誤しながら活動を深めたり広げたりできるように配慮している。 ○観察したことや知らせたいことなどを絵や文で表したカードを数多く例示し、児童が活動の見通しをもち、進んで取り組むことができるように配慮している。 <具体的な活動や体験を通して、自立への基礎を養う工夫> ○家族の「にこにこ」を増やす活動、季節に応じた公園での遊び、商店や消防署、駅の人などとかかわる町探検を行い、地図にまとめていく活動を行う。 ○公共物や公共施設の利用では、町探検の活動で図書館を紹介し、公園や乗り物を使うときのマナーを絵を使って取り上げている。 ○季節の変化と生活では、上巻で春夏秋冬の遊びと雨の日の様子を取り上げ、四季を通じて公園で自然とかかわる活動を紹介している。 ○草花、水、砂、木の実、風、雪、氷、影など自然物を使ったり利用したり遊び、日用品や廃材を使い遊び方の工夫から動くおもちゃ作りへと展開している。 ○幼稚園児等を招き交流する活動、互いのよさを伝え合う活動、思い出を巻物やペープサートなどを使って伝える活動を取り上げている。</p>
	<p>資 料</p>	<p>○「もっとやってみたい」で発展的な内容を取り上げている。上下巻末に「きせつのおくりもの」があり、図鑑的な資料（四季の生き物、町の様子）を合わせて20ページ載せている。 ○オリジナルソングのマークがあり、5曲が掲載されている。折り込みページに校舎内と校庭が一望できるようにし、活動の広がりをもたせている。</p>
	<p>表記・表現</p>	<p>○活動の段階を表す見だし（ホップ、ステップ、ジャンプ）が偶数ページの左上に示されている。 ○大単元名は見開きの扉ページに、拡大写真やイラストとともに示している。</p>
<p>総 括</p>	<p>○上巻120ページで7単元、下巻104ページで6単元からなる。すべての大単元を「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の3段階で構成している。 ○安全面の配慮など、生活上必要な習慣や技能は活動する中で習得できるように「！」のマークで示し、学習方法は「どうすれば、いいのかな」コーナーに明記している。</p>	

種目（生活）

<p>書名 項目</p>	<p>わくわく せいかつ上 せいかつ たんけんブック いきいき せいかつ下</p>	<p style="text-align: center;">61 啓林館</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○学習指導要領で求められている「関心をもつ、気付く、わかる、考える、深める」に対応した「わくわく、いきいき、つたえあおう、ちゃれんじ」の4段階の紙面構成になっている。具体的な活動の中や後の言語活動の例示が多く、気付きの質を高めつつ、自立への基礎が身につけよう工夫されている。</p> <p>○保幼少の連携や他教科への繋がりも配慮されている。</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">特色</p>	<p style="text-align: center;">内 容</p>	<p>〈基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫〉</p> <p>○単元の終わりの「つたえあおう」で伝え方のポイントが示されている。同じ形式の学習カードが例示により、わかりやすく、習熟しやすい工夫がある。</p> <p>○上巻はダンゴムシなど6種類、下巻にはカマキリなど13種類の動物や、ミニトマトを主教材とし、他にナスなど4種類の野菜が示されている。</p> <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成する工夫〉</p> <p>○身近な校庭を定点観測し、季節の変化をいろいろな観点から気付かせたり、付箋を貼りながら考えをひろげたりまとめたりする方法が示されている。</p> <p>○おもちゃ作りをしながら、風、ゴム、磁石などの動く仕組みに目が向くような例示にし、3年生の理科につながるようになっている。</p> <p>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</p> <p>○児童が他者とやり取りする場面を設定し、活動を深めて次につなげるように工夫されている。</p> <p>○「こんなときどうしよう」のコーナーで自ら解決方法を考えることを促したり、「レッツゴー町たんけん」→「もっと行きたいな町たんけん」「どんなあそびができるかな」→「どうすればもっとたのしくあそべるかな」と前の体験を生かし発展・継続させたりするような単元構成になっている。</p> <p>〈具体的な活動や体験を通して、自立への基礎を養う工夫〉</p> <p>○「できるかな」のコーナーは、学習内容に関連づけて、基本的な生活習慣が身に付いたか自らチェックするようになっている。</p> <p>○幼稚園や保育所との交流を入れた単元があり、学習の成果を伝えながら自分の成長を感じられるようになっている。</p>
	<p style="text-align: center;">資 料</p>	<p>○別冊の小冊子「せいかつたんけんブック」が付いている。</p> <p>○巻末の「わくわくずかん」へのリンク、言語活動例が5ページ示されている。</p> <p>○導入の「わくわく」、主な活動の「いきいき」、交流活動の「つたえあおう」広げて深める「ちゃれんじ」の4段階の紙面構成になっている。</p> <p>○イラストで見開き2ページの、道徳的な心情を育もうとするページがある。</p>
	<p style="text-align: center;">表記・表現</p>	<p>○「あぶない」コーナーは、赤の題字と囲みで、目立つ。</p> <p>○イラストの目次で、児童に学習の展望を示している。</p> <p>○それぞれの学習段階にキャラクターがいて親しみやすい。</p> <p>○さらに調べるためのページへのリンクが示されている。</p>
<p style="text-align: center;">総 括</p>	<p>○教師とともに考えたり話し合ったりする授業場面が多い。屋外の活動場所も校庭や近くの公園などが多く、実際の学習に即している。</p> <p>○生きもの単元を1年生でウサギやモルモット、2年生で昆虫やザリガニなどに分けて発展させたり、2年生で町たんけんを春と秋に行うようにしたり、繰り返して、スパイラルな学習になっている。</p>	

<p>書名 項目</p>	<p>わたしとせいかつ上 みんななかよし わたしとせいかつ下 ふれあいだいすき</p>	<p>116 日 文</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○繰り返し十分な体験活動ができるように、多くの活動場面が設定されている。 ○小一プロブレムに対応したページがある。保幼連携や自然との共生、人や社会とのかかわりが多く例示されている。 ○活動の中で、自立に必要な基礎基本が身に付くように構成され、豊富な写真や多種の学習カードにより、思考と表現の一体化を図れるように工夫されている。</p>	
<p>特色</p>	<p>内 容</p>	<p>〈基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫〉 ○側欄の青マークに「～のしかた」等活動の基礎基本を示すコーナーがある。 〈思考力、判断力、表現力等を育成する工夫〉 ○学習カードの種類が多く、計画段階「せっけいず」、活動中「しつもんカード」、振り返り「ふりかえりカード」など書く活動が多彩である。 ○生きもの単元を2年生だけにして、クワガタなど15種類の様々な生きものと触れ合い、図工や作文に発展させている。 〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉 ○おもちゃづくりの例示が4ページ12種類あり、活動意欲が高まる。 ○野菜作りの単元の発展として秋冬の野菜作りの例示、「もう一度チャレンジ」、秋冬の生き物観察の例示があり、継続的な活動ができるよう工夫されている。 〈具体的な活動や体験を通して、自立への基礎を養う工夫〉 ○「おともだちおうえんカード」「チームのよてい」「みんなのいいところ」など、友達との協力をうまく進めるための例示が多い。 ○1年生に「いっしょにいとあんしん」という、家族の繋がりを採り上げてから、自分の成長へとつなげている。 ○ミニトマト、サツマイモの他大豆を採り上げ、収穫したものを食べる活動の例示が多い。他に、なす、にんじん、とうもろこし、じゃがいも、おくら、きゅうり、ほうれん草、小松菜、キャベツ、かぶ、イチゴ、白菜、の例示がある。 ○夏休み単元があり、計画表や自由研究の例示がある。 ○児童が家族とやり取りする場面を設定し、学習を深めたり広げたりするとともに、生活化を図っている。</p>
	<p>資 料</p>	<p>○「いちねんせいになったら」が17ページあり、イラストでわかりやすい。 ○通学路の安全、地震津波、バリアフリー、リサイクルなど現代的な課題へ対応した写真資料が多い。 ○実際の子どもが主人公となり、名前も付いている。 ○児童が活動している写真が多い。また、写真による定点観測がある。</p>
	<p>表記・表現</p>	<p>○目次などいくつかの場所に点字やさわって感じるマークがある。 ○「おもちゃけんきゅうじょ」「ふゆのたからさがしだ」等、小単元名が児童の興味を引く。また、学習課題の下に、主な発問があり授業展開しやすい。 ○青いクレヨンマークで関連するページを示している。</p>
<p>総 括</p>	<p>○上巻138ページ、下巻132ページと、ページ数が多い。 ○単元をまとめて一つの単元で内容を深く広く扱っている。例示している野菜、生きもの、発表の仕方の種類が多い。 ○学習の中での関わり合いを重視している。先生と児童、友達同士、1年生、地域の人などと関わり合っている絵や写真、活動例が多い。</p>	